

目標②	利便性の高い生活移動の実現に向け、最適化を図った持続可能な地域間交通の確保	対応する 課 題	1, 2, 3, 4, 5, 8, 9
-----	---------------------------------------	-------------	---------------------

地域間交通においても、生活圏の一つである滝川市や深川市などの地域中心都市までの移動手段の確保は重要なものとなっていますが、広域交通と比較して、運行規模は小さく、より生活に直結した移動が中心となっています。

今後も限られた交通資源の中で公共交通サービスの提供を行うために、利用実態に応じて運行規模や他の公共交通との接続性の最適化を図りながら、地域間交通の確保に係る施策を実施、検討します。

<b>施 策 ⑤</b>	<b>利用実態や移動ニーズに即した路線の維持及び最適化</b>
--------------	---------------------------------

目 的 等	利用実態や住民の移動ニーズを踏まえ、利便性の向上や効率化などの路線最適化による持続可能な地域間交通を目指します	
取 組 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域間交通として位置付けられるバス路線について、利用実態を踏まえた路線のあり方を検討します</li> <li>・利用者数が現況の補助要件を満たしている深滝線（雨竜経由）のバス路線については、地域間幹線系統確保維持費補助金を活用しながら現状維持に努めます</li> <li>・沼田線は、JR留萌本線廃止後の代替交通として、利便性を維持するための対策について検討を進めます</li> <li>・北竜線など利用者数の確保が難しく、現況の補助要件を満たすことが難しいバス路線については、利用実態を踏まえ、効率の良い地域間交通の維持に向けて、起終点や運行区間が近い路線の最適化について検討を進めます</li> <li>・路線の最適化を実施した際のサービス水準は、既存のサービス水準を基本に設定し、検討を進めます</li> <li>・利用者数の増加に向け、他公共交通機関と連携し、利用促進に向けた取組を進めます</li> <li>・地域間交通及び生活圏交通の見直しを行い、接続状況の改善などによる輸送量向上を目指します</li> <li>・滝川北竜線については、令和4年3月末に廃止となったため、北竜町地域公共交通計画に記載されている代替交通の運行内容に準ずることとします</li> <li>・持続的な公共交通の運行体制を確保するため、バス運転手確保策について検討し実施します。</li> </ul>	
取 組 主 体 (連携団体・協力団体等)	北海道、北空知4町、バス事業者	
取組内容	北海道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各路線の利用実態に即した交通体系の構築に向けた議論の場の設定や協議・検討について必要な助言を行います</li> <li>・バス乗換案内時刻表の作成や振興局ホームページでの情報発信を行います</li> <li>・振興局が実施する合同企業説明会などでの広報活動をはじめとしたバス運転手確保策の検討を事業者と連携して行います</li> </ul>
	北空知4町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各路線の利用実態に即した交通体系の構築に向けた議論の場の設定や協議・検討を行います</li> <li>・町内の公共交通マップを作成し、ホームページや広報誌での情報発信を行います</li> <li>・移住希望者などへの広報活動をはじめとしたバス運転手確保策の検討を事業者と連携して行います</li> </ul>

	バス事業者	・乗車人員など利用動向に係るデータの提供や関係者からの運行に係る要望の実現性の検証・費用負担のシミュレートなど、必要に応じ、利用実態に即した交通体系の構築に向けた取組を実施します				
スケジュール	取組内容	R 4年度 (2022)	R 5年度 (2023)	R 6年度 (2024)	R 7年度 (2025)	R 8年度 (2026)
	路線維持に向けた 検討・協議	沼田線・深滝線：検討・協議を実施				
	路線の最適化に向けた 検討・協議	北竜線：検討・協議を実施			検討結果を反映	
	バス運転手 確保の検討・実施	取組の検討	合同企業説明会などでの広報活動の実施			

施 策 ⑥ 公共交通間の円滑な乗継に向けた地域内の交通拠点の形成

<p>目 的 等</p>	<p>広域交通と接続する地域内の交通拠点の形成を行い、円滑な乗継環境及び効率的な公共交通網の構築を目指します</p>					
<p>取 組 概 要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域交通と地域間交通や生活圏交通が接続する地域内の交通拠点を各町で形成します</li> <li>・地域内拠点の形成にあたっては、既存で活用されている拠点のほか、各公共交通機関が接続している施設や町内交流拠点等を活用します</li> <li>・地域との協議及びニーズを踏まえ、新たな拠点形成についても検討します</li> </ul>  <p style="text-align: center;">図 0-1 本地域における地域内拠点</p>					
<p>取 組 主 体 (連携団体・協力団体等)</p>	<p>北海道、北空知4町、J R北海道、バス事業者、北海道開発局、北海道警察</p>					
<p>取組内容</p>	<p>北海道</p>	<p>・交通拠点の形成にあたり、町及び交通事業者間の調整を行います</p>				
<p></p>	<p>北空知4町</p>	<p>・まちづくりと連携が図られた交通拠点の形成を検討します</p>				
<p></p>	<p>J R北海道 バス事業者</p>	<p>・乗継利便性の向上を目的とした情報提供を行います</p>				
<p></p>	<p>北海道警察</p>	<p>・交通網構築に伴う許可申請等への対応を行います</p>				
<p>スケジュール</p>	<p>取組内容 交通拠点の形成に向けた検討・協議</p>	<p>R 4年度 (2022)</p>	<p>R 5年度 (2023)</p>	<p>R 6年度 (2024)</p>	<p>R 7年度 (2025)</p>	<p>R 8年度 (2026)</p>
		<p>町営バス停留所整備 (北竜町)</p>				
		<p>検討・協議の実施</p>				

目標③	地域内での生活を豊かにする生活圏交通の確保	対応する 課 題	1, 2, 3, 4, 10
-----	-----------------------	-------------	----------------

本地域内を運行する生活圏交通としては、各町独自の取組として、町営バス（コミュニティバス）や乗合タクシー（デマンド交通）の運行を行っているほか、高規格道路を運行するバス路線との接続支援などを行っています。

こうした独自の取組をさらに推進するとともに、広域交通・地域間交通との接続性の確保も併せて取組を実施・検討していきます。

施 策 ⑦	本地域に住み続けられる生活圏交通の検討
-------	---------------------

目的等	広域交通との接続も見据えた地域内の生活の足を検討し、生活圏交通の確保・維持を目指します					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内での買い物や通院等での移動に加え、町内の公共交通空白地域の改善、広域交通との接続を目的とした交通の導入などを検討します</li> <li>・交通の導入にあたっては、地域の実情や広域交通との接続状況などを踏まえる必要があるため、本計画との連動を図りながら検討します</li> <li>・導入が想定される交通の形態として、町営バス（コミュニティバス）の運行や乗合タクシーの運行、スクールバスの住民混乗の実施、広域交通と接続する地域内拠点までの住民向けの移動支援事業の実施など、地域の実情にあったものを選択します</li> <li>・持続可能な生活圏交通の実現に向け、住民ニーズだけでなく、運行を担うことが想定される地域の交通事業者（タクシー会社等）の事業継続性も踏まえた検討を行います</li> </ul>					
取組主体 (連携団体・協力団体等)	北海道、北空知4町、町内交通事業者					
取組内容	北海道	・各主体の考え方を整理・集約し、広域交通・地域間交通との接続性の確保について助言を行います				
	北空知4町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通空白地域の改善など持続可能な生活圏交通の実現に向け、議論の場の設定や協議・検討を行います</li> <li>・各町の状況に応じて、スクールバスの混乗など、移動支援の実施に努めます</li> </ul>				
	町内交通事業者	・実際の運行における乗降状況など利用実態を把握し、情報提供します				
スケジュール	取組内容	R 4年度 (2022)	R 5年度 (2023)	R 6年度 (2024)	R 7年度 (2025)	R 8年度 (2026)
	持続可能な生活圏交通の実現に向けた検討・協議					
	地域の実情を踏まえた移動支援					

目標④	公共交通を住民及び来訪者に知ってもらう、使ってもらうための利用促進策の展開	対応する 課 題	1, 2, 4, 5
-----	---------------------------------------	-------------	------------

公共交通を確保し続けるには、住民や来訪者による利用が必要不可欠です。一方で、公共交通の運行状況を知らないことや自家用車よりも不便といった印象があり、日常的な利用に繋がらないことが想定されるため、より分かりやすく利用しやすい公共交通環境の整備に向け、情報発信の強化や先端技術を取り入れたスマートで質の高い公共交通の実現に向けた取組を検討します。

**施 策 ⑧ 地域内外に向けた情報提供体制の強化**

目的等	公共交通と移動目的がリンクした分かりやすい情報提供を目指します					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本地域に関連する公共交通網が大きく変化することが予想されるため、分かりやすい情報提供を行います</li> <li>・本地域に居住する住民だけでなく、来訪者も活用できる情報の発信を目的として、広報誌や各町ホームページなどの情報媒体を活用します</li> <li>・情報提供にあたっては、各公共交通機関の時刻表や移動ニーズが高い施設までの移動例など、公共交通を使った移動を支援する内容を検討します</li> </ul>					
取組主体 (連携団体・協力団体等)	北海道、北空知4町、バス事業者					
取組内容	北海道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス乗換案内時刻表の作成・ホームページ等を活用した情報発信を行います</li> <li>・他地域の優良事例などを収集し情報共有を行います</li> </ul>				
	北空知4町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の公共交通マップを作成し、ホームページを活用した情報発信を行います</li> <li>・主な訪問者として想定される観光客への情報提供に向け、各自治体の観光部局や観光協会と連携した取組を検討・実施します</li> </ul>				
	バス事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体等と協力し、路線図等を地域の交通結節点に配架するとともに、時刻表をはじめとしたデジタル情報を事業者ホームページに掲載します</li> </ul> <p>〈令和4年度実施〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HP上で全停留所時刻表、路線図、運賃表等を公開</li> </ul>				
スケジュール	取組内容	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
	情報提供体制の強化	バス乗換案内時刻表の検討、作成				
		公共交通マップの検討、作成				
地域に望ましい情報提供の検討・実施						

施 策 ⑨ 公共交通の利用を促進する運賃助成の検討

目的等		運賃助成による公共交通の利用者数増加を目指します				
取組概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民や各町を訪れる方が自動車に依存せずに、移動できる環境づくりに向けた運賃助成事業を検討します</li> <li>・地域住民向けに、高齢者だけでなく通学世代や子育て世代も活用できるような対象者の設定を検討します</li> <li>・地域住民に加え来訪者向けに、各町や町内施設と連携し、地域内の活性化及び公共交通の活性化が図られる割引制度などについて検討します</li> </ul>				
取組主体 (連携団体・協力団体等)		北海道、北空知4町、商工会				
取組内容	北海道	・他地域の優良事例などを収集し情報共有を行います				
	北空知4町	・公共交通の利用者数増加に向けた、移動支援及び利用促進策の実施に努めます				
	商工会	・各町が行う移動支援及び利用支援策について、必要な助言や連携した取組の実施に努めます				
スケジュール	取組内容	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
	公共交通の利用者数増加に向けた取組の実施					

施 策 ⑩ 先進技術を取り入れた移動の質の向上

目的等		ICTモビリティサービスの提供による移動の質の向上を目指します				
取組概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインでのデマンドなどの予約や事前決済など乗車前の負担軽減策を検討します</li> <li>・QRコード決済などの非接触型サービスを活用した支払時の負担軽減策を検討します</li> <li>・本地域と地方都市間の移動や施設訪問時における各種サービスのシームレス化を検討します</li> <li>・高規格道路を運行するバスの自動運転化による持続可能なサービスを検討します</li> </ul>				
取組主体 (連携団体・協力団体等)		北海道、北空知4町、JR北海道、バス事業者、北海道開発局				
取組内容	北海道	・ICT技術の活用に関する勉強会を開催し、シームレス交通の実現について検討します				
	北空知4町	・先進技術を取り入れた移動の質の向上に向け、議論の場の設定や協議・検討を行います				
	JR北海道	・ICカード「Kitaca」の利用可能エリアの拡大に向けて、検討・協議を行います				
	バス事業者	・各町の協議状況を踏まえ、各路線への先進技術の活用を検討します				
	北海道開発局	・他県事例等を含めた先進技術を活用した実証事業について、情報提供します				
スケジュール	取組内容	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)
	先進技術の活用に向けた検討・協議					
	Kitacaの導入に向けた取組					

### 4-3 目指す地域公共交通ネットワークと実現に向けて取り組む施策

本地域で目指す地域公共交通ネットワークについて、地域間幹線系統や地域内フィーダー系統等の観点から路線ごとの役割を明確化した上で、実現に向けて取り組む施策内容は以下のとおりです。

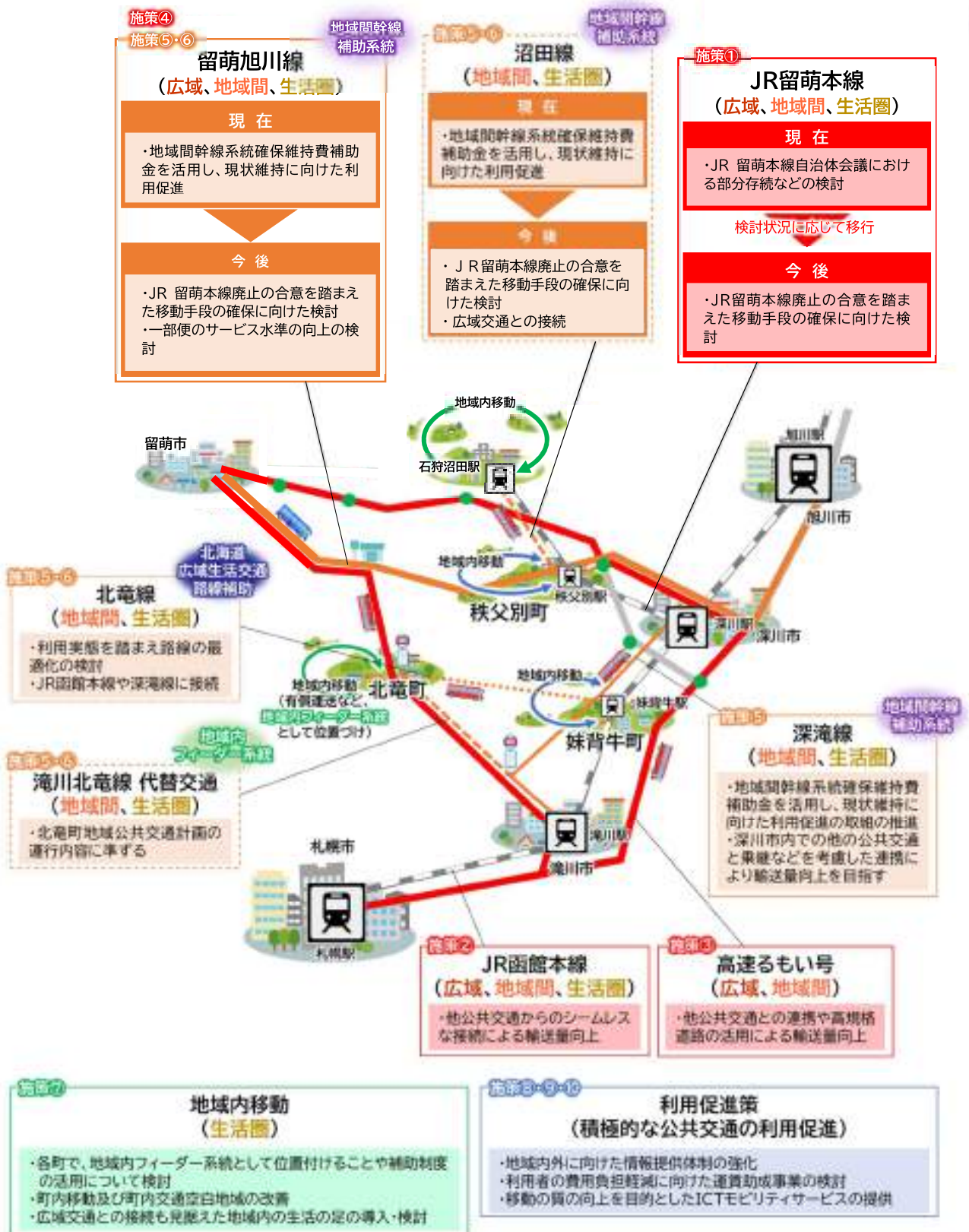


図 4-1 本地域で目指す地域公共交通ネットワーク